

本当に良い家を造るための妥協のないスタンス あなたの想いや歴史を詰め込んだ理想の家ができる

「施主様と一緒に種を植え、そして育ててゆく」をコンセプトにオーナーの理想の家を実現しているのが「seed建築士事務所」。徹底したコミュニケーションと現場主義を信念とする千丸剛央代表に、家造りに対するこだわりを伺いました。

井形編集長 独立されたきっかけは何だったのでしょうか？

千丸代表 もともと工務店に勤務していたのですが、工務店と設計士の連携が弱い状況に不満を持っていました。それだったら自分で両方やろうと。最初から最後までお客様と接して、現場でのコミュニケーションを通して家造りがしたかったです。

井形編集長 千丸さんの造るものって、和へのこだわりというのがすごく伝わってくるんですよ。



井形編集長 千丸さんの打ち合わせにかなりの時間を割きますよね。

千丸代表 時間は許される限りとらせてもらおうようにしています。もちろん融資の関係などで期間が限られるのならその中で抑

えることもできますし、過去には半年ぐらいかけて造った店舗もあります。

井形編集長 頻度は？

千丸代表 1週間に1、2回です。図面や文章、絵などこちらで制作したイメージを見てもらうような形式にしています。

井形編集長 これからの住宅を考えた時に、日本の住宅に欠けているものは何でしょうか？

千丸代表 家を造る側にしたら何十、何百軒の中の1軒ですが、購入する側にとっては一生に1軒ということとを忘れがちなことですね。

井形編集長 逆に購入する側は、できるだけ安いものを求めているけれど、造る側にも最低限かかるコストもあるの、安さの限度は絶対にある。それを考えずに価格ばかり重視しているとか良くない業者とか手抜き



の物件に当たってしまった場合もあります。だから双方それを忘れずに進めていけば、良い関係をずっと続けていけるのかなと思うんですよ。

井形編集長 なるほど。では家造りをしていく上での理想などはありますか？

千丸代表 やっぱりコスト的な面もありますから、何か1つその1カ所でも気に入るところを造ってあげればと考えています。そこがリビングであったり、玄関であったりとお客様によって様々だと思うのですが、完成した家を見て「こんな



事務所を立ち上げてから5年が経過して、紹介やリピーターも増えてきているとのこと。

家を建てたかった」と言ってもらいたいですね。

井形編集長 お話を伺っていると、若いのに信念を持ってこれだけの仕事をされているので、将来的には家というものに新しい日本文化を融合させるようなこととするのではと期待してしまいます。

千丸代表 やっぱりこの仕事が好きですから。より良い家を造るために喜んで何かを考えてしまいます。たとえば奥様が冷え性だったらどうしたら快適に過ごせるのか、など。現場で勉強させてもらって、一歩ずつ進んでいけたらと思いますね。

INFORMATION

seed建築士事務所

和歌山県岩出市山129

☎0736-62-7226 ☎0736-62-7256

営業時間：9:00~18:00 定休日：日曜日

http://www.sprinkle-seed.com/